

SCOTLAND GAZETTE

スコットランドの風

NPO 法人 日本スコットランド交流協会 ニュースレター / The Japan Scotland Association News Letter



2018.10

Vol.11



「日本スコットランド交流協会」年次総会開催
フィオナ・ヒスロプ (Fiona Hyslop) 大臣来日歓迎会
在エディンバラ前日本国総領事 松永大介氏、新総領事 高岡望氏との会談
スターリング大学サマースクールの歓迎会に参加して
JSA 後援「蛍の光 音楽祭」/スコットランドディ in 東京 2018

JSA 奨学生・会員 留学レポート
支部活動報告/映画紹介/書籍紹介/お知らせ



駐日英国大使館にて 「日本スコットランド交流協会」 年次総会開催

日時：2018年6月15日（金）

場所：東京都千代田区1番地1 駐日英国大使館

参加者数（会員）：98名（75名）。

NPO 法人 日本スコットランド交流協会 年次総会が開催されました。本年4月より会長に就任した Frank Boyland 氏の挨拶に始まり、議長 畠中康仁氏により議事進行が行われ、平成29年度の事業報告及び活動計算書（2017.4.1-2018.3.31）、監査報告、定款の変更が満場一致で承認されました。その後新体制となる役員紹介も行われました。総会は終始和やかな雰囲気できれいに進行し、満場の拍手を持って終了致しました。

その後引き続き開催された懇親会では、総勢約90人以上の方々に参加頂き、Dominic Skelton 氏のバグパイプの曲を合図に会が始まりました。

ご来賓頂きました駐日英国大使 Paul Madden 氏をはじめ、スコットランド国際開発庁日本代表で JSA 名誉大使である Stephen Baker 氏、参議院議員で JSA 顧問の古川俊治氏の皆様に挨拶を賜りました。

乾杯の発声をスターリング大学 Jennifer Harrison 氏より頂き、和やかな歓談が始まりました。

歓談の途中では、スコットランド出身で現在日本のインター FM などで大活躍中の人気 DJ である Guy Perryman 氏、先の平昌オリンピックでも大活躍されたカーリング日本代表キャプテンの

両角友佑氏より挨拶があり、会場は大変盛り上がりしました。また、世界中で活躍しスコットランド公演も大成功させた山内達哉氏（バイオリン）と山内香氏（ピアノ）による演奏が披露され、会場の皆がその素晴らしい音色に酔いしれ、会場の雰囲気は最高潮に。

その後の抽選大会ではスコッチグラスや、両角様からサプライズで着用されたユニフォームを提供されるなど、たくさんのプレゼントを巡って楽しい歓声が起きました。

最後に Dominic Skelton 氏のバグパイプによって Auld Lang Syne が演奏され、大盛況のうちに閉会となりました。

参加した方からも多数の喜びの声を頂き、大変に充実した懇親会となりました。（加藤 秀）



Frank Boyland 氏（JSA 会長）



1. 駐日英国大使 Paul Madden 氏 2. スコットランド国際開発庁日本代表 /JSA 名誉会員 Stephen Baker 氏 3. 参議院議員 /JSA 顧問 古川俊治氏 4. InterFM DJ, voice actor, producer Guy Perryman 氏 5. カーリング日本代表キャプテン 両角友佑氏 6. スターリング大学 Jennifer Harrison 氏 7. 山内達哉氏（バイオリン）, 山内香氏（ピアノ） 8. バグパイプ演奏 Dominic Skelton 氏



9. 豪華プレゼントは誰の手に？抽選会では歓声が上がり大変盛り上がりました 10. 盛況の会場内



フィオナ・ヒスロプ (Fiona Hyslop) 大臣来日歓迎会

JSA 名誉顧問 関 妙子



スコットランド文化・欧州・対外関係大臣 Fiona Hyslop 氏が7月初旬に来日、7月3日の英国大使での歓迎 Party に会長 Frank Boyland と共に出席しました。Hyslop 大臣と同行の Head of International relations の Mark Boyce 氏も交えて本年度 11 月 24 日の Scotland Day、さらには 2019 年 7 月 3 日 JSA 後援で開催される Ayrshire Fiddle Orchestra の初来日公演の話題などなど親しく話をさせて頂きました。歓迎会では Orchestra の演奏会場を提供していただく大妻女子大学の伊藤学長、井上副学長も紹介させていただき、Ayrshire は Hyslop 氏の出身地であることなどもあり話が弾みました。今回、Hyslop 大臣、Boyce 氏とお目に掛かり、Scotland 政府からの JSA に対する引き続きの支援を確認することができました。当日は Business 面で Scotland と 活発に交流をしている JSA の会員の方々も出席されました。



1. 左から Mr Boyce 氏、関、Hyslop 氏、Boyland 氏
2. Hyslop 氏 歓迎会。左から綱島氏夫妻、山本氏、近藤氏、Boyland 氏、関、阿知波氏 (すべて JSA 会員)
3. Hyslop 氏歓迎会
向かって左から関、井上氏 (副学長)、Hyslop 氏、伊藤氏 (学長)、Baker 氏

在エディンバラ前日本国総領事 松永大介氏、新総領事 高岡望氏との会談

JSA 名誉顧問 関 妙子



写真 左から関、松永大介氏、高岡望氏、Frank Boyland 氏

9月18日、外務省にて、前総領事の松永大介氏及び新総領事の高岡望氏との面談の機会をいただき、会長 Frank Boyland 氏と共に伺いました。松永氏はエチオピア大使として赴任される直前、高岡氏もエディンバラに赴任される前のお忙しい中にもかかわらず、Scotland の歴史、現状、日本との関係など、多岐に渡って意見交換し、大変有意義な時間を過ごすことができました。

松永氏には、在任中、JSA の Newsletter に、毎回、Scotland の歴史、植物などについて興味深い記事を寄稿いただいたこと、また毎年2月に Stirling 大学で開催される Japan Week (JSA 後援) に多大な

ご支援いただいたことなどに心より感謝申し上げます。在任中は、私を含め多くの方が温かいお人柄に触れ感銘を受けました。

高岡氏からは、イタリア公使、スウェーデン公使などを歴任された豊富な経験から、日本とスコットランド、スウェーデンの類似点、相違点などについて、興味深いお話を伺い、ご著書「日本はスウェーデンになるべきか」(PHP 新書)を寄贈いただきました。

高岡氏には、JSA の名誉会員となることを快諾していただき、松永氏からも、名誉会員として引き続き JSA へのご支援をいただけることとなりました。

スターリング大学サマースクールの歓迎会に参加して

在エディンバラ日本国総領事館 副領事 村田 陽子

8月8日、スターリング大学のジェリー・マコーマック学長をはじめとする大学関係者が、英語力を身につけるためにスターリング大学のサマースクールで勉強している参加者を対象に歓迎会を開催しました。私もこの席に招待頂き、参加して参りました(写真1)。このサマースクールは2013年から行われていて、今年で6年目を迎えます。今年は、日本とフランスからの高校生、大学生、社会人の総勢52名が参加しました。

参加者は皆、スターリングに数週間滞在し、英語力を向上させることにとても意欲的でした。学習も大事ですが、せっきくの滞在ですから、スコットランドを満喫することも忘れていないようです(写真2)。参加者の方々の帰国後の英語を発揮する機会が訪れるのが待ち遠しいですね。



1. 執筆者 下から2段目、右から5番目 2. スターリング城にて

JSA 後援「蛍の光 音楽祭」(福島県棚倉町)

JSA 理事 飯村 英人



9月22日に福島県棚倉町で開催されたJSA後援の「蛍の光 音楽祭」が開催されました。この音楽祭は日本でもお馴染みのスコットランド民謡「蛍の光 (Auld Lang Syne)」の作詞を手掛けた同町出身の稲垣千穎(いながき ちかい)を顕彰するコンサートです。3回目の開催でしたが600席の大ホールは多くの町民の方々に埋められ、地元の高校生の合唱部や関東から参加した大学の合唱に温かな拍手を送られていました。中でもJSA会員のリンゼイ河合氏設立のラムゼイ・パイプバンドの演奏では、初めて目にするキルトの正装やバグパイプの豊かで伸びやかな迫力のあるパフォーマンスに盛大な歓声と拍手が送られ大変盛り上がりしました。

音楽祭では11月のScotland Dayで「Auld Lang Syneと蛍の光」について御講話いただく中西光雄氏(唱歌研究者であり歌手 中西圭三氏の実兄)が大変興味深い日本の唱歌と国文学に関する逸話をご

披露して下さいました。Scotland Day ライトニングトークで皆様もぜひスペシャルなトークをお楽しみください。



1. エンディングで「蛍の光」を合唱
2. 会場入口 3. 左から飯村、中西圭三氏、リンゼイ河合氏、モード・ラムゼイ氏、渡部徳子氏、中西光雄氏

2018年度 JSA 奨学生

太田 智美

この度は日本スコットランド交流協会の奨学生に選出頂き、とても感謝しています。私は大学を卒業してから数年会社に勤めていたのですが、2016年にスターリング大学で行われる冬の7週間のコースに参加させて頂きました。そこで素敵なお人達と出会い、会話をすることで失っていた夢が、再び火を灯して、こうして今またスターリング大学にいます。マスターではInternational Conflict and Cooperationを学ぶ予定です。だいぶ遠回りをしてここまで来たように思います。今もまだ信じられない想いでここに立っていますが、選んで頂いたことに恥じないよう勉学に勤めます。



スターリング大学で学んで

初田 清佳

日本スコットランド交流協会の2017年度の奨学生に選んでいただきました初田清佳です。この度、スターリング大学院での国際ナショナルビジネスコースの修士論文を無事に提出致しましたことを皆様にご報告いたします。この一年間、財務や会計、人材育成やコンサルタントなどのビジネスに関する幅広い知識を各国の学生たちと切磋琢磨しながら学んできました。集大成である修士論文では日本の伝統産業の国際化に関する障壁について調べました。これらの勉強を通じてたくさんの友達、人々に出会い、たくさんの考え方や文化、経験も学び得ることができました。慣れない環境で生活の面でも勉強の面でも大変なことは多々ありましたが、家族やフラットメイト、友達、支援してくださるJSAの皆様ののおかげで本当に充実した一年を過ごすことができました。このような素晴らしい、貴重な体験をさせて頂けたことを心から感謝いたします。



1. コースメイトとの会食 2. 修士論文提出



スターリング大学 夏の英語研修

田村 裕子

素晴らしい環境の中、学習ができるということに幸せを感じました。若い時にこのような体験が出来れば、なお良かったと思います。今回スターリング大学で学習させていただき、自分自身の課題も見つかり、今後の英語学習に役立てていきたいと思っています。有難うございました。



スターリング大学 夏の英語研修

前田 明美

軽い気持ちで来てしまった summer school でした。大学生と一緒に勉強し又パソコン使用等 悪戦苦闘の日々でしたが若い方達とのふれあいも楽しかったです。何より寮からの眺めは最高で心を癒されました。



スターリング大学 夏の英語研修

石田 久美子

緑豊かなスターリング大学で長いと思っていた4週間がアツと言う間に過ぎてしまいました。

初めは若い学生に混ざっての慣れない授業でしたが次第にこなせる様になり、午後のフリータイムには出かける余裕も出て来ました。庭に遊びに来るリスやウサギ達を眺めながらの朝食はまた格別で、何処へ出掛けてもこの大学に戻ってくるとホッとする、そんな場所でした。



東京支部

Teatime English

(毎月第二土曜開催)

おいしい紅茶を飲みながら、身近な話題を英語にしてみませんか？

英語のレベルは問いません。気軽に参加ください。

まずは自己紹介と質疑応答で始まりましたが、それが思った以上に盛り上がり、一時間程全体で英会話をした後、ペアになって4月のテーマ「サクラ」について話し合いました。日本には桜の名所がたくさんあるため、皆さん様々なお花見スポットを紹介できたと思います。文学や歴史、哲学なども話題に上りました。



Teatime Englishの様子

第12回スコティッシュ・キッチン

(7月16日)

気温35度という中、東京支部に7名の方々が集まり、汗をかきながら熱心にお料理を作りました。

今回はスコティッシュ料理の他に、JSA会員のBenneth Esianaさんの国、ナイジェリアの国民的料理「ジェロフライス」にチャレンジしました。

担当 光恵子

スープ	スコッチブロス (実だくさんの野菜スープ)
サラダ	ホリアティキ (フェタチーズ、オリーブ)
メイン	めかじきのカレー風味
付け合わせ	きのこのマリネ
主食	ジェロフライス (牛肉、トマト味)
デザート	サブレフロランタン

サブレフロランタンは思いの外簡単に作れ、好評でした。



スコティッシュ・キッチンの様子

関西支部

関西ハイランドゲームズ・参加

(4月1日)



神戸・三宮で開催された関西ハイランドゲームズ協会主催の関西ハイランドゲームズに会員14名が参加。マスバンドには、地元関西の他、東京、長崎、岡山、大阪など日本各地だけでなく、香港からも参加していました。ブースでは、京都のスコティッシュパブ「アンティシエンエ」が揚げたてのフィッシュアンドチップスと生ビールを、日本バーテンダー協会大阪北摂支部が各種スコッチウイスキーを、関西ハイランドゲームズ協会がハギスサンドウィッチとコーヒーを販売して雰囲気盛り上げていました。JSA 関西のブースでは会員の原さん手作りマーマレードと、会員が持ち寄ったスコットランドゆかりの品々を販売すると共に協会の活動をPRしました。その結果、3名の方々の新規入会申し込みを受けました。来年は4月7日に開催予定で、日本唯一であるこのイベントに、JSA 関西も協賛したらという声が上がっています。



英会話教室

(5月26日)

とよなか国際交流センターにて開催。講師はモード・ラムゼイさん。英会話そのものだけでなく、文化や習慣の違いなども学んでいる。初参加の4名や久しぶりの人も交えて9名が参加。モード先生がいつも強調されるのは、我々日本人が学校で習っている英語は基本的におかしい！ということです。文法的には正しく、文章としては使われるが、Nativeの日常会話には決して使われない例を示され、Body Language や 3 rhythmなどの英語特有の表現などについて教わっています。



武部さん講演会

(6月24日)

会員の武部さんはケルト文化の探究者としてご高名ですが、今回は「映画・ウイスキー…エトセトラ in Scotland」というテーマで、スコットランド好き、映画好き、ウイスキー好き、武部さん個人のファン等々様々な人々に向けて熱く講演していただきました。「映画の中のお酒」、「スコットランドのウイスキー映画」、「ウイスキー好きの世界の巨匠・黒澤監督」等々多数の画像資料を準備されていたのですが、そこは武部さん！、話は帰ってこられたばかりの南インド放浪の旅や新刊書などあっちこっちに飛びまくり会場は笑いの渦に包まれました。皆様の感想は「めっちゃ楽しかった！」が多く、講演会のあとの「酒好きのひとびと」（決して「酒飲みの人々」ではなく）の有志の飲み会も「楽しかったあ」そうです。



JSA ウイスキー倶楽部

(5月5日)

第7回JSAウイスキー倶楽部をサントリー山崎蒸溜所で開催、26名が参加。恒例のこの蒸溜所見学もなかなか予約が取れない状況にあり、今回ようやく特別セミナーをJSAのために開催してもらいました。このセミナーは本来お酒の間屋、専門店等向けに行われている言わばプロ向けの内容で、世界に誇る「シングルモルト山崎」の構成原酒のテイastingを交えたレクチャーを受けました。4種類の原酒のそれぞれの特徴を味わいながら、仕上げは「山崎」の甘く華やかな味と香りを楽しむことが出来て、いつものことですが、ウイスキーの奥深さを実感しました。



スコットランド料理教室

(4月15日、7月8日)

春夏秋冬のスコットランド料理をモード・ラムゼイさんのアドバイスを適宜受けながら、英語レシピにより自分たちで作ってゆくというスタイル。4月は Grilled lamb & Maitre d'hotel butter、7月は Poached salmon with Cucumber sauce が主菜でそれぞれ付け合わせとデザートも含めて料理を楽しみました。それぞれ15名、13名が参加。主菜やデザートの出来上がりはそれぞれ各テーブルで創意工夫があり、到底同じレシピからとは思えないものになります。モード先生の「スコットランド料理には失敗というものはない。それぞれ新しい料理である。」という言葉に勇気づけられて、料理を楽しんでいます。



関西支部の9月以降の活動予定

- 9月9日(日) スコットランド料理教室・秋の料理 西宮・夙川公民館
- 10月20日(土) 英会話教室 とよなか国際交流センター
- 11月3日(土) 第8回JSAウイスキー倶楽部 宝塚・ハッセルハウス
- 12月2日(日) スコットランド料理教室・冬の料理 西宮・夙川公民館
- 1月12日(土) 英会話教室 とよなか国際交流センター

九州支部

宮崎公立大学 2 年 新留くるみ

2018年8月現在、私はスターリング大学での留学プログラムに参加しています。宮崎公立大学からは、9名の学生がスコットランドの涼しい気候の恩恵を受けながら、毎日楽しく勉学に励んでいます。自然豊かな広々としたキャンパスで英語を学び、積極的に英語で発話することができるようになりました。また、他の大学から来た学生達からも刺激を受け、充実した学校生活を送っています。週末にはグラスゴーやエディンバラ、ネス湖などのフィールドツアーにも参加し、スコットランドの歴史や文化、たくさんの自然に触れました。このスターリングでの生活は、今後生きていく上で忘れられないとても良い経験になると思います。



東北支部

東北支部からは、2018年8月、青森公立大学の学生2名がスターリング大学のサマープログラムに参加し、文法学習から英語でのプレゼンテーションまで楽しく学ぶことができました。また、共同生活を通して他大学の学生との交流を深めることもできた様子です。週末にはエディンバラやグラスゴー、インヴァネスを訪れ、スコットランドの歴史や文化を学ぶこともできました。学生たちが、古都スターリングの地で学んだことを今後の学業やキャリアに活かしていくことを期待しています。



告知

スコットランドディ in 東京 2018 開催迫る！

昨年に引き続き今年も 1 月 24 日(土)東京芸術劇場にて「Scotland Day in Tokyo 2018」が開催されます。今年の講演はスコットランドの女性旅行家イザベラ・バードの研究における第一人者である金坂清則氏(京都大学名誉教授)がイザベラ・バードとスコットランドについて、エッセイストのよしだみどり氏が文豪ステューブソンと日本についてお話して頂く予定です。その他、スコットランド留学フェア、様々な分野の専門家がプレゼンテーションする「ライティング トーク on Scotland」、そして夜は食事と音楽、バグパイプ演奏に楽しくケイリーダンスも行います。どうぞ、乞うご期待下さい。



スコットランド デイ in 東京 2018

会 場：東京芸術劇場（池袋）

日時：2018.11.24 (土)

関連
イベント

「ウイスキーと2人の花嫁」特別上映会

一夜限りの上映イベントです。ぜひご参加ください！

※特別チケットを用意しています。

お近くの JSA 事務局員へお声かけください。

11月23日(金祝)池袋シネマ・ロサ(17:30~)

(問:03-3986-3713 <http://www.cinemarosa.net/lateshow.htm>)



申し込み方法

どなた様もお越し頂けます。但し第4部は会費制のため、別途お申し込みが必要です。JSA 会員の皆様へはイベントのご案内をこのニューズレターと同封にてお送り致します。詳細はホームページまたはお近くの JSA 事務局員までお問い合わせ下さい。



映画のロケ地で巡るスコットランド②

只今 AXN (CS テレビ) で放映中の「アウトランダー」はダイアナ・ガバルドン原作のベストセラー小説を忠実に映像化した作品です。主人公のクレア (カトリーナ・バルフ) が 1945 年のインバネスから、スコットランドとイングランドの緊張高まる 1743 年にタイムトラベルしてしまう SF めいた話ですが、シーズン 3 ではクライマックスのカロードウンの戦いが描かれています。カロードウン自体は何もない荒野ですが、主人公ジェイミーの実家の城はグラスゴーから北東 50 キロに位置する「ドゥーン城」、ジェイミーが拷問を受けた刑務所はエディンバラから西へ電車で 30 分の「リンリスゴー宮殿」で撮影されました。また、

JSA と関わりの深いスターリング大学でもロケが行われ、20 世紀にタイムスリップした主人公の娘がとある集會に参加する場面で、大学の中央棟が使われました。次号に続く。

(光 恵子)



リンリスゴー宮殿

書籍 紹介

「行くか、スコットランド」 —モルトウイスキーの故郷を訪ねて

光原社 高村壽一 / 松谷和男 2018 年



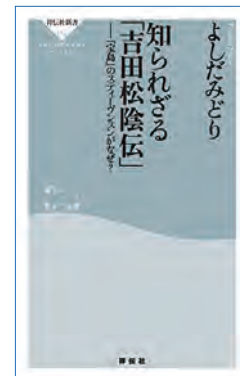
モルトウイスキーをこよなく愛する高村氏 (大学名誉教授、日本エッセイスト・クラブ理事) と松谷氏 (元損保マン) が スコットランドの 32 の蒸留所 (アエラ・ジュラ島で 9 か所、ハイランドで 11 か所、アラン島・キャンベルタウンで 3 か所、オーバン・マル島で 2 か所、スカイ島で 1 か所、スペイサイドで 9 か所、オークニーで 2 か所 (ほぼ Scotland 全域を網羅) を数年に渡って訪ね、それぞれのウイスキーの特徴、その周辺の文化・伝統、さらには Scotland の興味深い文化・歴史にまで言及している本です。この本がただのウイスキー紹介本に終わっていないのは、ウイスキーに対する深い知識を持った著者たちとそれぞれの蒸留所で製造にかかわる人々との親しい会話から醸し出される交流の素晴らしさに負うところが多いと思います。高村氏がニッカウイスキーの創設者竹鶴政孝氏と直接会って、ウイスキーの飲み方を伝授されたなどのエピソードも散りばめられて、あまりウイスキーを飲まない私も一気に読破、ウイスキーを入り口とした Scotland 風土紀を読んだ読後感を味わいました。是非、皆さんにもこの本に酔っていただきたいと思います。なお、版元 (光原社) は 〒113-1934 東京都文京区湯島 2-30-25 太陽ビル 4F、Tel 03-3815-2740 (関妙子)



左が高村壽一氏、
右が松谷和男氏
オークニー島の
スキヤバ蒸留所にて

知られざる「吉田松陰伝」 —『宝島』のステーブンスンがなぜ？

祥伝社新書 よしだみどり 2009 年



著者のよしだみどり氏は日本テレビの幼児教育番組「ロンパールーム」の司会を 1969 年から 4 年間担当。ステーブンスンの生涯を描いた「物語る人」(毎日新聞社) で平成 12 年度日本文芸大賞 伝記・翻訳新人賞を受賞されました。ステーブンスンを深く研究され、また金子みすゞの和英対訳絵本などを著されています。本書の舞台は近代化黎明期の明治初期日本とスコットランド。世界の文豪ステーブンスンが世界で最初の「吉田松陰」伝記を書いたという驚きの事実に端を発します。なぜ会ったこともない吉田松陰の伝記をステーブンスンが書いたのか、その謎を解く旅が始まります。手がかりを追ってサンフランシスコに山口に、そしてエディンバラに…そこで見つかったものは一体なんだったのか。次々と明らかになってゆく人間関係、明治初期の国憂の志士たちと若き文豪ステーブンスンとの情熱に溢れる心の交流が読み手を熱く感動に導きます。まるで推理小説を読むかのようにドラマティックな展開にも大変わくわくします。みなさまへお勧めしたい一冊です。(加藤秀)



よしだみどり氏

「スターリング大学春期英語研修」(7週間:2019年2月11日～3月29日) 参加者募集

7週間の英語コースで本格的に英語の習得を目指したい方ご参加ください。3、4、5、6週間の参加も可能です。18歳以上であれば英語能力や年齢の制限はありません。クラブ活動に参加するなど現地の学生との交流が図れます。

費用:学費、寮費、週末旅行(エディンバラ、グラスゴー、セント・アンドリュース、ネス湖一泊)すべて含んで3,995ポンド

※上記金額は7週間参加の場合。参加期間によって料金は変動します。

※Flight代と生活費(自炊で1週間5,000円程度)は別途必要です。

ご興味のある方はお気軽にJSA事務局までご連絡ください。

会員のご家族、ご友人の方の参加も歓迎です。

【締切】11月30日

【お問い合わせ】東京本部 TEL/FAX 03-5988-8785 E-mail: info@jpn-scot.org



告知

JSA 奨学生帰国報告会及び Year-End Dinner Party

12月22日(土)18:00～20:00 早稲田大学大隈会館内レストラン「楠亭(なんてい)」にて、2018年のJSA奨学生の帰国報告を兼ねた忘年会を開きます。奨学生がどのような学生生活を送り、どのように研究に携わったか、修士論文はどのような内容か、今後の仕事は、などについてDinnerを楽しみながら親しく話がでる場を設けました。奮ってご参加ください。



【日時】:12月22日(土)18:00～20:00

【会場】:早稲田大学大隈会館内レストラン「楠亭(なんてい)」

【参加費】:5,000円(ビュッフェスタイルの食事、飲み物)

【定員】:30名

【申し込み締切】:12月15日

【申し込み方法】

本部のE-mail (info@jpn-scot.org)宛てに参加の旨ご連絡下さい。

またはTEL (03-5988-8785)で申し込んでください。

寄附御礼

初田 直樹 殿 金 20,000 円

美山 茂俊 / 明美 殿 金 2,000 円

山口 謙治 殿 金 1,000 円

香取 真理 殿 金 1,000 円



会の運営の一層の充実を図るために、活動資金をご支援くださいますようお願い致します。お寄せいただいたご寄附につきましては、本協会の活動全体を支えてくださることを目的とした「一般寄付」として活用させていただきます。

SCOTLAND GAZETTE スコットランドの風

2018.10 Vol.11

JSA ニュースレター

2018年10月1日

発行……NPO法人 日本スコットランド交流協会

編集・デザイン……加藤 秀

表紙写真……Ardreck Castle (Sutherland in Scotland) / photo: 加藤 秀

印刷……印刷プリントバック



編集後記

前号よりニュースレターの全面リニューアルを行い、デザインを一新しましたがいかがでしょうか。表紙はスコットランドで撮ってきた写真を掲載させて頂いております。皆さまに、美しいスコットランドの地へ思いを馳せて頂けたら幸いです。これから毎号別の写真で表紙を飾らせて頂きます。次号も暖かく見守っていただけると嬉しく思います。(加藤 秀)



NPO法人
日本スコットランド交流協会
The Japan Scotland Association

ホームページ <https://jpn-scot.org/>

東京本部/東京都新宿区下落合3-12-28-1401 〒161-0033 Tel&Fax: 03-5988-8785 Tokyo Headquarters: 3-12-28-1401 Shimo-ochiai, Shinjuku-ku, Tokyo 161-0033, JAPAN
東北支部/青森県青森市合子沢山崎153-4青森公立大学 香取真里研究室内 〒030-0196
Tohoku Branch: c/o Prof. Mari Katori's office, Aomori Public University, 153-4 Yamazaki, Goshizawa, Aomori-shi, Aomori 030-0196, JAPAN
関西支部/大阪府豊中市新千里東町2丁目5-3-906 〒560-0082 Kansai Branch: 2-5-3-906 Shin-senri, Higashi-machi, Toyonaka-shi, Osaka 560-0082, JAPAN
九州支部/宮崎県宮崎市霧島2-23-2 〒880-0032 Kyushu Branch: 2-3-2 Kirishima, Miyazaki-shi, Miyazaki 880-0032, JAPAN